DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号　９５０１

エポニックスPH

１．一般名　フェノールエポキシ樹脂塗料
２．規格　社内規格
３．特徴　１）防食性にすぐれている。
２）耐熱性に優れる（浸漬条件下でMax90℃、大気部でMax200℃）。

４．塗料性状

項　目		内　容			
容姿		2液性			
荷姿		20kg セット(主剤:18.64kg、硬化剤:1.36kg)			
色相		グレー			
光沢		ー			
密度(23℃)	塗料	1.54			
	揮発分	0.88			
加熱残分		83%			
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	40℃
	指触	15時間	10時間	4時間	2時間
	半硬化	24時間	18時間	9時間	4時間
標準膜厚		125μm～150μm			
引火点		ＳＤＳ参照			
発火点		ＳＤＳ参照			
爆発限界(下限~上限)		ＳＤＳ参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

５．塗装基準

項　目		内　容			
下地処理		ブラスト ISO-Sa2$^1/_2$(SSPC-SP10)			
調合法		主剤：93.2部、硬化剤：6.8部（重量比）			
可使時間		5℃	10℃	20℃	40℃
		8時間	7時間	4時間	2時間
使用シンナー		エポニックスシンナーＢ			
塗装法	塗装方法	刷毛塗り		エアレス塗装	
	希釈率	0～10%		0～10%	
	標準塗布量	0.36kg/㎡		0.56 kg/㎡	
	標準膜厚	125μm		150μm	
	ｳｴｯﾄ管理膜厚	175μm		225μm	
エアレス塗装条件		１次圧 0.4MPa(4 kg/cm^2)以上 ２次圧 10MPa(100 kg/cm^2)以上			
		チップ№163-517～719			
塗装間隔	温度	5℃	10℃	20℃	40℃
	最小	24時間	20時間	8時間	4時間
	最大	30日	30日	30日	30日

注）標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

６．施工上の注意

(1)被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
(2)使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違うと十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
(3)主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
(4)余り塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので、必ず規定範囲内で塗り重ねること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウエスにて清掃してから塗装すること。
(5)エポニックスシンナーＢ以外のシンナーは使用しない。
(6)塗装終了後は20℃で7日以上の養生期間を置くこと。

７．関連法則

	主　剤	硬　化　剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	ＳＤＳ参照	ＳＤＳ参照
劇物表示	―	―

８．使用上の注意［警告］

(1)引火性の液体である。
(2)有機溶剤中毒の恐れがある。
(3)健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2023.12

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。